

釧路南ロータリークラブ会報

第21回 例会報告 2024.1.26 通算1956回

・点 鐘 長江孝文会長

・ロータリーソング

「それでこそロータリー」



ソングリーダー 福井 克美会員

・結婚祝

森江 洋之会員 H6. 1. 29 (30年目)

・会長挨拶



皆さん、こんにちは。

さて、1月22日(月)に「会員増強を語る」というテーマで会長、幹事、亀井会員増強委員長含めメンバー7名で炉端鱈にて、打合せをしてみました。

2月に2度の家庭集会、そして、2月16日の家庭集会報告例会、3月には会員増強の例会があり、どちらも会員増強、会員維持のテーマで話すという事なのでその前にしっかりとしたプランを立てましょうという事で開催しました。

わがクラブにおいては 会員増強は本当に力を入れていかなければならないテーマであります。

今まで会長、幹事は1度、受けたら2度はやらなくても良いといった暗黙の了解がありましたがこのままだと2度、3度、会長、幹事を受けなければならない事になります。今回は提言だけで終わるのではなく、実際に実行、行動する。その為に集まりました。

これから、亀井会員増強委員長をリーダーにいろいろとみなさんをお願い等々、あると思いますが南ロータリークラブのためにご協力をよろしく申し上げます。

さて、今日の例会は歴代会長卓話(2018~2023年)と期間を限定し、できるだけ若い年数の会長経験者にお話を頂く、そんなプログラムになっております。実は過去の会報を見るとコロナ等で出来なかったこともありますが歴代会長卓話のプログラムは7年前の2017年の2月に高橋会員、長倉会員の2名の発表者で行われていたのが最後のようです。久しぶりの歴代会長卓話の例会になります。

とても楽しみにしております。

それでは今日1日、宜しくお願いします。

・幹事報告



* 先で行われた理事会で決まりました、プログラムの変更などのお知らせです。

- ① 当初プログラムに記載しておりました、2月9日（金）『会員交流例会』ですが、この度12月に入会致しました『高橋圭二』会員の『新入会員歓迎会』に変更になりました。
- ② 1月20日（土）から、釧路市幸町緑地（釧路市観光国際交流センター前庭）で開催されております『釧路ウィンターパーク』ですが、釧路市のイベントに釧路南ロータリークラブから協賛金を出し『釧路市ウィンターパークが盛り上がり釧路市民や子供達が楽しんでいただきたい』という思いで、釧路南ロータリークラブから協賛金 50,000 円を出す事が理事会で決定致しました。

* 2月16日（金）の『家庭集会報告』に向けて、『家庭集会』を行います。

- ① 日時：2月2日（金）
時間：18時30分より
座長：長江 勉パストガバナー補佐
会場：鴨とり権兵衛
- ② 日時：2月14日（水）
時間：18時30分より
座長：福井克美パストガバナー補佐
会場：パラダイスカフェ
となっております。

お忙しい中だとはございますが、ご参加の程宜しくお願い致します。『家庭集会開催のご案内』はメールにて送っております。出欠は『調整さん』作成しておりますので、調整さんへの記入をお願い致します。締め切りは、1月30日（火）までです。

* 2月2日（金）『平和構築と紛争解決月間に因んで』となっておりますが、『釧路ベイロータリークラブ』からメイキャップで、当クラブ例会に参加致します。会員の皆様、宜しくお願い致します。

・委員会報告

親睦委員会 小向親睦委員長



- ・ 本日のニコニコ献金
森江 洋之会員 結婚祝として



世界に希望を生み出そう

・本日のプログラム

「 歴代会長卓話(2018～2023 年) 」

担当 ロータリー情報委員会

◆ロータリー情報委員会 長倉副委員長



◆2020～2021 年度 奈良清成パスト会長



私は 2020 年—2021 年度会長を務めさせていただきました。幹事をさせていただいた時前田さんからバトンを受けて亀井さんにバトンを渡し、会長をさせていただいた時も前田さんからバトンを受けて亀井さんにバトンを渡したんだと今回文書を考えていて今更気付き不思議な感じがしました。

2020—2021 年度

ガバナーは富良野 RC の松田ガバナー

ガバナー補佐は釧路 RC の石田ガバナー補佐でした。コロナ禍の真っ最中で地区研修協議会は zoom 対応リモート会議、地区大会は延期の後、最終的に中止となりました。なので、結果任期中は富良野には一度も行っていません。ガバナー公式訪問も zoom を使用してのリモート例会でした。第 7 分区会長・幹

事会も例年 6 回開催すると思いますが、会長・幹事そろっての会議は 2 回ほどだったと記憶しています。当然、恒例の最終会長・幹事会の小旅行もありませんでした。地区行事、分区行事がことごとく延期や中止となって例年のロータリー活動とは違う 1 年間でした。クラブテーマを“Challenge”として 1 年をスタートしました。前年度コロナウイルスの関係でやむなく例会を休会せざる得ない状態が続くことがあった為、当時私の第一の目標はコロナ過であっても例会をしっかりと開催することでした。自分の仕事柄 zoom を取り入れたリモート例会に“challenge”したいと思いました。今では大半の人がいろいろな場面で普通に使用している zoom ですが、当時は年度初めに zoom 準備例会、zoom チャレンジ例会など zoom 対応する為の勉強例会を開催したことを懐かしく思います。会長、幹事、副幹事、例会担当委員長の 4 人だけ例会場に来て、会員皆様にはリモートで入っていただいた例会もありましたし、緊急事態宣言中でも zoom 対応で例会を開催することができましたので当初の目標はほぼ達成できたと思います。懐かしく思うと同時によくやったなと思っています。あとは若干ではありましたが会費の見直し、現在は自然消滅してしまいましたがクラブイメージの向上を目的とした Facebook での情報発信、翌年に控えた 40 周年記念に向けた企画立案などに取り組みました。とにかく過去を振り返って今まで通りやれば大丈夫が通用しない 1 年間のクラブ運営だったと思います。そんな中で菊地幹事には助けられたと思っています。ある時に私が正式に会長を受ける前の話になりますが、奈良さんが会長をやる時に俺に幹事やらせてくださいと言ってくれました。当時から他団体でも一緒に活動したり、プライベートで一緒にお酒を飲んだりしていて仲良くしていましたが、彼からの突然の言葉に驚きました。例年幹事が決まらなると悩むところが、思いがけない相手から逆オファーを受けた訳ですから

嬉しい気持ち、ほっとした気持ち、不安な気持ちいろいろな感情が入り混じっていたような気がします。年次総会からの約1年半の間、時に厳しい事も言ったりしましたが、しっかりとサポートしてくれました。当時の最終例会でも話しましたが彼が幹事で本当に良かったと今でも思っています。木内副会長の計らいで梨100kgを動物園に寄贈させていただき、幹事と共に市役所に行き市長との記念撮影、新聞社からの取材など完全に他人のふんどしで相撲をとらせてもらったことも良い思い出です。キャンドルパーティーの時に長江さんに乾杯の挨拶をいただいたのですが、私のスポンサーの前でクラブでの大役を無事に終えることができ、1年間頑張った良かったと思いましたが、自分の失敗などで長江さんに恥をかかせることがなくて良かったとホッとしたことを思い出します。当時を振り返り役員・理事を務めていただいたメンバーをはじめ会員皆様の協力のもと1年間無事に活動できたことに今改めて感謝し、今後のロータリー活動でしっかりとお返ししていきたいと考えています。

ありがとうございました。

◆2021～2022年度亀井麻也パスト会長



2021-22年度 第40代会長

2007年8月に創業

2012年9月入会

あっという間に10年を超えていた

2020年9月新型コロナウイルス感染症が大流行する中、現社屋を購入し事業は17期目となりました。

1996年に不動産会社へ転職し、2007年に独立しました。開業して5年目の節目に縁があつて南RCにお誘い頂き正直、戸惑いました。そこで母に相談したところ「誰もが誘ってもらえる団体ではないのだから喜んで入会しなさい。これまでも様々な方にお世話になるばかりで、これからは出来ることからお手伝いすることが大事だよ」と助言があり入会を決定しました。新しい世界で右往左往するばかりでしたが、諸先輩にご指導いただき、副幹事、出席プログラム委員長、クラブ運営委員長、幹事を得て2021-22年度に第40代会長を務めることができました。

入会して最初の挨拶で「クラブの一員としてお役にたてるよう活動に臨んで参りたい」と話しましたが、まだまだ実現に至っておりません。入会時の会員数は28名(2019年に30名のピーク現在27名)今年度は会員増強委員長として重点目標の第一にクラブメンバーを30名超えとする。と掲げております。

まだ5ヶ月あります。目標達成に向けてご協力をお願い致します。元日に起きた能登半島地震から4週間近く経ちますが、被災地の北陸各県では窃盗や詐欺、悪徳商法が急増しているという。住民避難が続く石川県珠洲市や輪島市、七尾市などで被災者の留守宅や多数の人が出入りする避難所などを狙った犯罪を抑止する狙いで防犯カメラが設置された。カメラが設置されるのは、珠洲など3市と能登、中能登、穴水、志賀4町。50台が稼働を開始し、当面の運用台数は100台となる見込み。石川県内では地震が発生した1日以降、震災に乗じた犯罪が相次ぎ警察庁などによると、22日午後5時時点の認知件数は29件。避難所内での置引や空き巣といった窃盗が25件と大半を占めており、他に器物損壊や建造物侵入、不同意わいせつ事件もあった。

不動産業は家資格を要する賃貸、売買の仲介、賃貸

仲介に付随して管理が代表的な業務となっています。その仕事に関係すると思えば様々な資格や勉強をし 2004 年にレジデンシャルセキュリティーアドバイザーの認定を取得しました。何の資格かと言うと、レジデンシャル「住宅」の、セキュリティー「防犯」について過去の犯罪事例をもとに予知防犯のアドバイスをする。というものです。マンションやアパート、一戸建などを管理していると少なからず、空き巣等の被害に遭うことがあります。

泥棒や空き巣が好んで狙う家・・・

公園が近くにある家では泥棒被害が多発するといわれています。ベンチに腰掛けてジュースを飲んだり、日向ぼっこ、柳町公園などではランチの後に仮眠をとったりなんて光景も見受けられます。そこに他府県ナンバーの車が止まっても不自然に見えることは少ないでしょう。近くにある家の下見するには絶好の場所です。過去に犬の散歩をしているふりをして下見をしていた外国人窃盗グループが検挙されています。同様に、コンビニやファミレス、病院や駐車場といった場所も要注意です。もし、自分の家を下見できる場所に会った事もない人や、不審な人物がいたら、相手の顔を見て、「こんにちは、こんばんは」と一声かけるのがイイそうです。泥棒など犯罪を犯そうとしている人は顔を見られたり、声を掛けられることで犯行を諦めると言われています。

二世帯住宅・・・

普段から、家族の誰かがいるから空き巣に遭わないと思ひ込むそうです。物音がしても息子夫婦かな？と不審も抱いていなかったから、忍び込み犯だったというケースが多い。二世帯住宅の侵入犯罪はライフスタイルや家族構成をよく知っている顔見知りによる犯行が少なくありません。それだけに鉢合わせ。なんてことになったら、顔の知られている犯人が居直り、強盗、殺人などに発展する可能性が高まり危険なのです。実際に私の実家は、兄家族との二

世帯になりましたが玄関が一つで、それぞれの家は左右に分かれています。同居した当初、田舎には多いことですが、日中は施錠しないことが当たり前です。しかし今では、ゴミを捨てに行くチョットの間でも、それぞれに声をかけて出かける、どちらかの家を不在にする時は施錠することになっています。また、未使用の部屋の窓は侵入されやすいです。人の目が届かない窓は死角になり、ガラスを破っても気付かれにくいので、外から見て空き部屋だと気付かせない工夫が必要です。補助錠や防犯ガラスにすると良いと思います。ちなみに網入りガラスを防犯ガラスと勘違いされる方もおりますが、あれは防火用で、割れた時に破片が飛散しないようにするためのものですのでご注意ください。皆様のご自宅は一軒家だと思いますが、第一に建物の周辺は常に整理整頓し、足場になるようなものをなくしておく、第二に玄関ドアや窓が通りから見えにくい、塀や植栽が高いほど防犯性は低下しています。その陰に隠れて玄関の鍵を壊したり、窓を割ったりできるのです。外から見えない、隣家との間や裏側が死角になっている場所が思い当たりましたら死角を作らない工夫をしてください。犯罪被害に遭う危険性は、家の立地だけではなくライフスタイルにも大きく左右されますが、未然に防ぐには、予めどのような状態が危険なのかを知ることが大切と言われております。



・次回のプログラム

2月2日（金）

「平和構築と紛争解決月間に因んで」

会場 ANAクラウンプラザホテル釧路 12:30～

担当：国際社会奉仕委員会

・点 鐘 長江孝文会長
今週の会報担当：木内治彦会員